

# おもてめん ワークシート

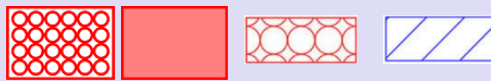
と く と き が わ し ょ う な い が わ り ゅ う い き ち す い じ ょ う り ゅ う い き へ ん  
「みんなで取り組もう 土岐川・庄内川の流域治水(上流域編)」P24の  
か く に ん て じ ゅ ん ひ と か く に ん  
【ハザードマップでの確認手順】にそって、おうちの人とも確認しましょう。

【大雨のとき、そこにとどまっていたらいじょうぶ？ かくにんフロー】

## スタート

- ① ハザードマップに学校・自宅・よく行く場所に印をつけましょう。  
印をつけた場所ごとに、②から確認していきましょう

- ② ①で印をつけたところは、水害によって建物がたおれるおそれがある地域(家屋倒壊等氾濫想定区域)に入っていますか？



←このような印の範囲

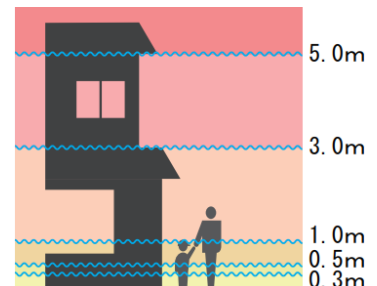
また、土砂災害について、危険な区域に入っていますか？

☐ はい (どれか1つでも入っている) ☐ いいえ → ③へ

- ③ ①で印をつけたところは、どのくらいの高さまで水につかりますか？水につからない高さに部屋はありますか？

(洪水ハザードマップ: m未満)

(内水ハザードマップ: m未満 (情報がある場合))



☐ いいえ (どちらか1つでも)

☐ はい (水につかる部屋もあるが、つからない部屋もある) → ④へ

☐ 水につからない → うらの⑦へ

うらの  
⑤へ

- ④ 建物が水につかるのは、水につからない高さの部屋で、水がひくまでの期間「がまん」できるような短い期間(例: 12時間未満)ですか？または、水・食料・非常用トイレ・毛布・薬などの、自分たちにとって必要な備蓄が不足しないなどの準備がありますか？

(浸水継続時間: 時間未満)

☐ いいえ → うらの⑥へ

☐ がまんできるくらい短い・準備がある → うらの⑦へ

浸水深0.5m以上が継続する時間	
12時間未満	12時間～1日未満
1日～3日未満	3日～1週間未満
1週間～2週間未満	2週間以上

【おおあめなが かわ みず ていぼう ちか  
大雨が長くつづきそうなき、川の水が堤防に近づいているときは・・・】

⑤ とどまっていますは危険です！ 必ず安全なところへ避難しましょう！



かわからあふれる水のいきおいで建物がこわれたり、水没したりするかもしれません。

がけや山の近くでは、土砂災害で建物がこわれるかもしれません。

万が一、逃げ遅れてしまったら、その場・そのときに一番安全と思われる場所まで身をまもりましょう。

⑥ より安全な、とどまることができる場所へ避難したほうがよいです



道路が浸水する前に、水につからない地域や「浸水継続時間」がより少ない地域へ移動するほうがよいです。

また、自宅の場合は、長い時間浸水した場合でもとどまれるように、備蓄を用意するようにしましょう。

⑦ とどまって、洪水の危険がさるのを待ちましょう



無理に外に出て移動したりせずに、洪水の危険がさるのを待ちましょう。

ただし、浸水しない場合でも、停電・窓ガラスや屋根が壊れて雨風がはいてくる・雨漏りが発生するなど、その場にとどまれなくなる場合もあります。万が一にそなえて、避難場所や避難所について確認をしておきましょう。

避難先はどこにしますか？いくつか考えておきましょう。

- ハザードマップの避難場所 ( )
- しんせきなどの家 ( )
- そのほか ( )

かぞくとのきめごと (どんなとき誰と連絡をとるか、一人でいるときはどこで待つかなど)